

埼玉県議会議員

県政報告

令和4年(2022年)夏号

阿左美けんじ

A S A M I

K E N J I

URL <https://asami-kenji.com/>

■県議会6月定例会特集

発行：埼玉県議会 自由民主党議員団
埼玉県議会議員 阿左美健司
〒368-0072 秩父郡横瀬町横瀬6144-10
TEL.0494-26-7435 FAX.0494-26-7434

県議会6月定例会報告

原油価格・物価高騰に対する経済支援として

補正予算 第1号・第2号 27億4,975万1千円

県議会6月定例会は6月17日から7月7日にかけて開催され、一般会計補正予算【第1号・第2号】あわせて27億4,975万1千円を議決しました。

補正予算の主な内容は、ウクライナ情勢や円安の影響を受けている生活者や事業者を支援するため、国による「コロナ禍における『原油価格・物価高騰等総合緊急対策』」に基づくもので、県として緊急に対応すべき事業として生活者への支援（5億495万6千円）と事業者に対する支援（9億6,932万9千円）が大きな柱となっています。また、当面緊急に対すべき事業に加え、脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備投資を促進するための予算（11億3,056万6千円）が盛り込まれました。

降ひょう被害への緊急対策として

補正予算 第3号 8億7,450万8千円

6月2日および3日の降ひょうは県内において大きな被害を及ぼしました。

私たち自民党県議団は6月6日、いち早く大野知事に緊急対策を求める要望書を提出し支援に取り組んでまいりました。

6月定例会では緊急対策として補正予算【第3号】8億7,450万8千円を議決。被害の大きい11市7町を農業災害対策特別措置条例に基づく「特別災害」に指定するとともに、指定されなかった4市についても実質無利子で融資が受けられる「農業近代化資金」の対象とすることが決まりました。さらに、被害を受けた農業施設の修繕や苗などの購入費を補助する予算も盛り込まれました。

私たち自民党県議団は地域の経済と人々の生活を守るため、今後も全力で働く所存です。



秩父地域が全国植樹祭開催候補地に!!

小鹿野町と秩父市にまたがる秩父ミュージックパークが、令和7年（2025年）に埼玉県での開催が内定している「第75回全国植樹祭」の開催候補地に選定されました。

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・みどりに対する国民的理解を深めるために、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催により開催する国土緑化運動の中心的行事です。

埼玉県では2回目の開催に

本県では昭和34年（1959年）に寄居町（金尾山）において、天皇皇后両陛下をお迎えし「第10回全国植樹祭」を開催しました。

この大会では、天皇皇后両陛下がヒノキの苗木をお手植えになるとともに、旧埼玉県林業試験場（寄居町）に移動し、天皇陛下はスギの種子を、皇后陛下はヒノキの種子をお手播きになりました。

今後、10月以降に正式決定になる予定です。

全国植樹祭開催は秩父地域の森林の保全、また、秩父地域全体の振興につながるものと期待を膨らませております。



第10回全国植樹祭（昭和34年）では約7千人の方々が約3.8haの敷地にヒノキの苗木約1万5千本を植樹されました。

第10回全国植樹記念碑



第75回全国植樹祭 埼玉県準備委員会より
秩父地域が開催候補地として選定!!



■式典会場：秩父ミュージックパーク（秩父市別所、久那、寺尾、田村地内、秩父郡小鹿野町長留地内）

■開催時期：令和7年（2025年）春季（予定）



地域活性化の起爆剤として期待

2大プロジェクトの進捗状況について

【長尾根バイパス】

長尾根バイパスは、秩父市蒔田地内で国道299号と交差する上蒔田交差点を起点とし、長尾根丘陵の下をトンネルで潜り、秩父市寺尾地内に至る延長約4kmの地域高規格道路*です。

このバイパスの整備により、皆野寄居バイパスや皆野秩父バイパス、さらに主要幹線道路と一体となった道路網が構築され、県北部地域や小鹿野地域と秩父市街地とのアクセスが向上し、人や物の交流の活性化が期待されます。



これまでの経過

令和4年4月から地元業者により、ドローンレーザー測量という最新技術で現地測量が行われました。今後も地元業者の受注機会が増えるよう要望してまいります。

また、地元住民の皆さまへの説明会をこれまで3カ所(上寺尾町会、田村町会、上蒔田町会)で実施しました。

多くの住民から出た意見としては「早く事業を進めてほしい」とのことで、この事業(特に長尾根トンネル)は、皆さまの悲願であったことを痛感しました。これで事業を軌道に乗せることができました。



小鹿野町内の国道299号千束峠改良のための予備設計も進んでいます。



【大滝トンネル】

大滝トンネルは、現道約7kmの区間を約2kmのトンネルでショートカットする道路です。

同トンネルの整備により、この区間の走行時間の短縮(約10分)や安全性の向上、地域の防災力強化、観光地へのアクセス改善など、多くの効果が期待されます。

工事の進捗状況

約110.4m地点を掘削中(7/16現在)



※大滝トンネルの進捗状況はこちらで確認できます→



発破直後の様子



発破によって生じた土砂をすくって運搬する「ずり出し」の様子。



油圧ドリルジャンボ施工状況

岩盤に穴をあけながらロックボルト(鉄筋の棒)打設や火薬を装填するための穴を掘っています。

仮称 定峰峠トンネルの事業化の可能性検討へ

道路交通データなどを基に、秩父地域全体における将来の交通量の変化を予測し、費用対効果やその他の整備効果を調査しつつ(仮称)定峰峠トンネルの事業化ができるかどうかの可能性について検討していくことが決まりました。